

# 2023年度 エコアクション21 環境経営レポート

【期間：2023年4月～2024年3月】

《PHOTO: 寝屋川店 2023年11月3日グランドオープン》



私たちは、地域と地球の  
環境に配慮した事業者です



エコアクション21

®環境省

認証番号 0007169

おかげさまで  
関西マツダは  
創立20周年



株式会社 関西マツダ  
発行日 2024年5月20日



1

《目次》

2

《組織の概要》

3

《実施体制》

4

《店舗一覧表》

5

《環境経営方針》

6~7

《環境経営目標》

8~9

《環境経営計画》

10~17

《環境経営計画の取組結果と評価》

18

《環境関連法規等のとりまとめ》

19

《代表者による全体の評価と見直し・指示》

# 株関西マツダ 組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名  
株式会社関西マツダ  
代表取締役 首藤 敬

2. 所在地  
大阪府大阪市浪速区桜川1丁目3番25号

3. 事業内容  
新車販売  
中古車販売  
自動車の整備  
自動車賃貸業(レンタカー事業)  
各種自動車部品及び用品販売  
自動車保険等の損害保険代理店業務、生命保険の募集に関する業務



4. 事業規模

① 店舗数	大阪府下42店舗(中古車・BPセンター含む)	(2024年3月1日現在)
② 従業員数	987名	(2024年3月1日現在)
③ 年間売上高	359億2813万円	(2024年3月期実績)
④ 年間新車売上台数	7,837台	(2024年3月期実績)
⑤ 年間サービス売上高	58億1188万円	(2024年3月期実績)
⑥ 認証登録店舗(2023年3月現在)	42店舗	
⑦ 対象店舗	※下記	

5. 対象組織 全組織とする(※2024年3月1日現在以下42拠点)

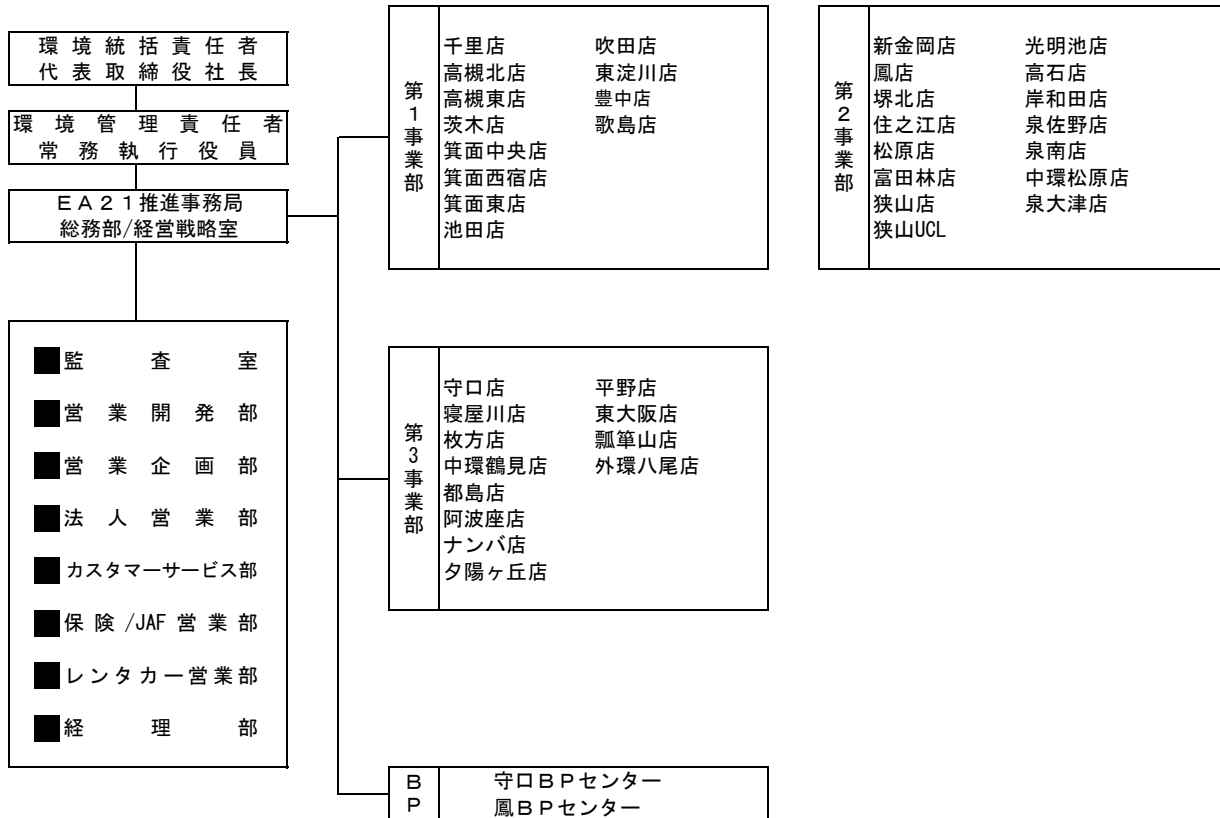
	本社
--	----

第1事業部	千里店
	高槻北店
	高槻東店
	茨木店
	箕面中央店
	箕面西宿店
	箕面東店
	池田店
	吹田店
	東淀川店
	豊中店
歌島店	

第2事業部	新金岡店
	鳳店
	堺北店
	住之江店
	松原店
	富田林店
	狭山店
	狭山UCL
	光明池店
	高石店
	岸和田店
	泉佐野店
	泉南店
	中環松原店
泉大津店	

第3事業部	守口店
	寝屋川店
	枚方店
	中環鶴見店
	都島店
	阿波座店
	ナンバ店
	夕陽ヶ丘店
	平野店
	東大阪店
	瓢箪山店
外環八尾店	

B	守口BP
P	鳳BP



<役割>

環境統括責任者	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> <li>EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標の設定を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する ※代表者は、環境経営の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>EMSの構築、実施、管理</li> <li>環境経営計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
推進事務局 EA21	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全体的な環境経営取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗の環境取り組みの指導・支援</li> <li>環境データの集計・取りまとめ</li> </ul>
監査室 カスタマーサービス部	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特にサービス工場領域に関する環境経営取組を推進する
3F・4F担当者	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特に本社領域に関する環境経営取組を推進する
店舗環境管理責任者 正：店長 副：サービスMg r	店舗での環境経営取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> <li>店長は店舗の環境取り組み全体の責任者として、推進・管理を行う</li> <li>サービスマネージャーはサービス工場領域の責任者となり店長をサポートする</li> </ul>

# 株関西マツダ 店舗一覧表

(2024年3月現在)

	店舗名	備考	〒	住所	電話	FAX
本社	EA21環境推進事務局		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8000	06-6561-8019
第1事業部	千里店		565-0874	吹田市 古江台 6-1-3	06-6871-1021	06-6871-1026
	高槻北店		569-1135	高槻市 今城町 16-5	072-683-0101	072-683-0105
	高槻東店		569-0036	高槻市 辻子 3-8-1	072-672-1000	072-672-1005
	茨木店		567-0041	茨木市 下穂積 1-8-10	072-622-6741	072-622-6744
	箕面中央店		562-0004	箕面市 牧落 5-5-18	072-722-0843	072-722-0991
	箕面西宿店		562-0034	箕面市 西宿 1-5-14	072-729-1135	072-729-2879
	箕面東店		562-0004	箕面市 牧落 3-19-30	072-723-8988	072-723-8990
	池田店		563-0025	池田市 城南 3-6-4	072-752-0521	072-752-0524
	吹田店		564-0041	吹田市 泉町 3-19-12	06-6338-1561	06-6338-1639
	東淀川店		533-0013	大阪市 東淀川区 豊里 7-32-5	06-6326-6371	06-6326-6387
	豊中店		561-0836	豊中市 庄内宝町 2-7-10	06-6335-2020	06-6331-2100
	歌島店		555-0024	大阪市 西淀川区 野里 3-1-4	06-6473-1534	06-6473-1538
第2事業部	新金岡店		591-8025	堺市 北区 長曾根町 3001-1	072-259-5001	072-259-5934
	鳳店		593-8328	堺市 西区 鳳北町 9-44	072-262-1441	072-262-1444
	堺北店		590-0985	堺市 堺区 戎島町 4-31	072-238-5571	072-238-5598
	住之江店		559-0024	大阪市 住之江区 新北島 1-6-10	06-6685-8521	06-6685-8525
	松原店		580-0045	松原市 三宅西 3-250-1	072-335-7551	072-335-2708
	富田林店		584-0092	富田林市 昭和町 2-1748-7	0721-26-2432	0721-26-2890
	狭山店		589-0013	大阪狭山市 菜葉木 6-1049-1	072-367-1851	072-367-1856
	狭山UCL	※中古車専売店	589-0013	大阪狭山市 東菜葉木 4-1343-1	072-368-1562	072-368-1563
	光明池店		594-0031	和泉市 伏屋町 4-10-25	0725-50-5566	0725-50-4141
	高石店		592-0012	高石市 西取石 5-2-30	072-262-0120	072-262-0229
	岸和田店		596-0823	岸和田市 下松町 1-1-6	072-439-5621	072-439-5624
	泉佐野店		598-0033	泉佐野市 南中安松 1430	072-466-0451	072-466-0588
	泉南店		599-0203	阪南市 黒田 328-1	072-473-3288	072-473-3291
	中環松原店	※サービス工場のみ	580-0014	松原市 岡 6-3-27	072-334-1621	072-334-1626
泉大津店	※サービス工場のみ	595-0031	泉大津市 我孫子 117-1	0725-21-3181	0725-21-3185	
第3事業部	守口店		570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1152	06-6909-6663
	寝屋川店		572-0028	寝屋川市 日新町 21-17	072-831-4521	072-831-4527
	枚方店		573-1162	枚方市 甲斐田新町 2-4	072-847-8621	072-847-8641
	中環鶴見店		538-0032	大阪市 鶴見区 安田 2-5-19	06-6912-0241	06-6912-0830
	都島店		534-0011	大阪市 都島区 高倉町 2-8-1	06-6922-3871	06-6922-3875
	阿波座店		550-0006	大阪市 西区 江之子島 1-9-15	06-6443-8171	06-6443-6134
	ナンバ店		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8031	06-6568-8047
	夕陽ヶ丘店		556-0001	大阪市 浪速区 下寺 1-6-5	06-6633-7831	06-6633-7835
	平野店		547-0035	大阪市 平野区 西脇 1-1-6	06-6702-7221	06-6702-3388
	東大阪店		577-0016	東大阪市 長田西 4-4-28	06-6744-1651	06-6744-1656
	瓢箪山店		579-8066	東大阪市 下六万寺町 3-8-5	072-987-7365	072-987-7383
	外環八尾店		581-0034	八尾市 弓削町 南 2-135	072-949-0909	072-949-9501
B P	守口BPセンター		570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1288	06-6904-4811
	鳳BPセンター		593-8328	堺市 西区 鳳北町 9-494	072-262-1664	072-266-0530

## 環境経営方針

### <基本理念>

株式会社関西マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において、全従業員一人一人が環境保全活動に取り組み、地球環境の保護と未来への豊かな社会づくりに貢献する事を誓います。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 環境負荷の低減を図り、省資源・省エネルギーに努めます。  
そのため、電気・水道・ガソリン等の省エネルギー活動の推進を致します。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進致します。  
また、化学物質使用量の削減に向け塗料の水性化を拡大させます。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再生利用を推進致します。
5. 当社の事業活動の自動車販売・整備においてお客様に自動車の環境情報を積極的に提供し、スカイアクティブ車及びエコタイヤの拡販を推進し環境活動の推進に努めます。
6. 環境改善目標を定め、継続的かつ具体的な環境改善活動を実践致します。
7. 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底するとともに、自社のホームページにも掲載し、社会に公表いたします。

令和 3年 7月 10日

株式会社関西マツダ  
代表取締役社長

平 正憲

# ㈱関西マツダ 環境経営目標

## 1. 過去の環境負荷実績 ※全拠点

項目	単位	基準実績					
		2019年度実績 '19年4月～'20年3月	2020年度実績 '20年4月～'21年3月	2021年度実績 '21年4月～'22年3月	2022年度実績 '22年4月～'23年3月	2023年度実績 '23年4月～'24年3月	
二酸化炭素排出量 ※1	kg-CO <sub>2</sub>	3,334,561	3,178,713	3,146,504	3,101,001	2,191,327	
電力使用量	kWh	4,907,320	4,573,476	4,651,761	4,722,323	4,558,584	
化石燃料	ガソリン使用量	L	191,257	213,195	189,154	181,712	176,137
	軽油使用量	L	73,116	56,796	48,884	60,928	66,255
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	62,188	56,183	57,406	55,209	53,516
	LPG使用量	m <sup>3</sup>	194	98	95	91	64
	灯油使用量	L	108	59	161	155	200
廃棄物	一般廃棄物	kg	102,569	91,910	97,021	95,545	82,271
	産業廃棄物	kg	565,123	526,205	484,988	466,399	428,715
水使用量	m <sup>3</sup>	36,242	33,709	32,751	32,162	31,928	
コピー用紙の使用量	kg	39,104	40,457	35,137	36,356	28,191	

※1 排出係数はオリックス…0.734 エネアーク関西… 0.442 関西電力… 0.311 (全て単位は、kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。  
排出係数は各社の2021年度実績(調整後)

## 2. 環境目標

項目	単位	2019年度実績 (目標となる基準)	目標				
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	3,334,561	3,267,870	3,234,524	3,201,179	3,167,833	
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
電力使用量	kWh	4,907,320	4,809,174	4,760,100	4,711,027	4,661,954	
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
化石燃料	ガソリン使用量	L	191,257	187,432	185,519	183,607	181,694
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
	軽油使用量	L	73,116	71,654	70,923	70,191	69,460
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	62,188	60,944	60,322	59,700	59,079
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
LPG使用量	m <sup>3</sup>	194	190	188	186	184	
	(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%		
灯油使用量	L	108	106	105	104	103	
	(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%		
一般廃棄物排出量	kg	102,569	100,518	99,492	98,466	97,441	
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
産業廃棄物排出量	kg	565,123	553,821	548,169	542,518	536,867	
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
水使用量	m <sup>3</sup>	36,242	35,517	35,155	34,792	34,430	
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	
コピー用紙の使用量	kg	39,104	38,322	37,931	37,540	37,149	
		(削減率)対2019年度比	△2%	△3%	△4%	△5%	

		目標				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
本業における環境配慮	台	スカイアクティブ搭載車の販売比率 前年比100%以上				
エコタイヤ販売	本	前年の販売比率 100%以上				

# ㈱関西マツダ 環境経営目標（化学物質取扱量）

## 化学物質取扱量

### 1. 環境負荷の現状

化学物質の種類	単位	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績
エチルベンゼン	kg	1.3	1.2	1.2
トルエン	kg	497.4	52.8	39.6
キシレン	kg	1.7	1.6	1.3
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg	13.8	4.6	7.0
バナジウム化合物	kg	0.0	2.1	2.4
クロム及び三価クロム化合物	kg	0.0	2.7	1.8
ナフタレン	kg	3.3	1.6	1.8
4-メチル-2-ペンタノン	kg	0.0	1.9	0.1
シクロヘキサノン	kg	0.9	2.1	0.0
1,2,4-トリメチルベンゼン	kg	38.0	8.7	13.6
酢酸ブチル	kg	2,025.9	2,055.9	1,829.4
メタノール	kg	141.2	0.0	0.0
1-ブタノール	kg	0.0	0.0	0.0
メチルエチルケトン	kg	4.1	0.0	0.0

※2023年4月より化管法（PRTR法）に基づく適正管理の対象となる化学物質が変更となった為、下記の化学物質を報告する

化学物質の種類	単位	2023年度実績
エチルベンゼン	kg	1.2
トルエン	kg	38.0
キシレン	kg	1.7
トリメチルベンゼン	kg	24.6
バナジウム化合物	kg	0.3
クロム及び三価クロム化合物	kg	1.8
ナフタレン	kg	1.5
4-メチル-2-ペンタノン	kg	0.1
エチレングレコールモノブチルエーテル	kg	0.3
トリメトキシシラン	kg	0.3

### 2. 環境目標 ※BPセンター（板金塗装工場）

化学物質の取扱い量を把握するとともに適正な取扱い及び処理をする  
また塗料の水性化を拡大する





# (株)関西マツダ 環境経営計画(1)

## 取り組み内容

### 1.環境教育・訓練を実施 EA活動の促進及び意識向上・教育 (PDCAの実践) 結果:計画通り実施できた

- ①環境に関するミーティング(エコアクション21活動ミーティング)を月1回以上開催して  
拠点メンバーで取組みに関する反省や今後の取組みを話し合い、ミーティングシートに記録する
- ②緊急時を想定しての緊急対応訓練(消防訓練及びオイル流失訓練)を実施する
- ③推進事務局から不定期に提供される「ワンポイントレッスン」を活用して「環境教育訓練」を実施し  
「環境教育訓練記録簿」に記録する。

### 2. 電力使用量の削減 結果:下記項目の実践は元より省エネ機器の積極的導入により削減できた

- ①メジャーサインの点灯時間の管理
- ②ショールームの消灯時間の順守
- ③不要な照明の消灯
- ④昼休み、退社時の工場の消灯
- ⑤5/1～10/31の期間クールビズの実施
- ⑥エアコンの温度設定の確認・退社時の電源OFF
- ⑦エアコンフィルターの定期的な清掃
- ⑧エアコンプレッサーの退社時電源OFF
- ⑨退社時や長時間離席時のOA機器の電源OFF
- ⑩エコアクション21実績表を基に電気使用量を把握する

### 3. 自動車燃料の削減 結果:下記計画項目を実践し無駄な燃料を削減することができた

- ①エコドライブの啓発(エコドライブ10のすすめ)
- ②タイヤの空気圧・不要な荷物チェック
- ③サービスカーなどへのエコオイルの使用

### 4. 廃棄物の削減 結果:コピー用紙、一般廃棄物、産業廃棄物とも目標値の削減は達成

- ①一般廃棄物の削減
- ②コピー用紙使用量の削減
- ③産業廃棄物の適正処理の徹底
- ④廃油・廃バッテリーは有価物として処理する

### 5.水使用量の削減 結果:下記計画項目を実践し削減することができた

- ①水道使用量の確認
- ②節水の掲示を各蛇口周辺に貼る
- ③洗車用ホースにストップノズルを取り付ける

## (株)関西マツダ 環境経営計画 (2)

### 取組内容

#### 6. 紙(コピー用紙)使用量の削減

結果: 下記項目を実践することで削減目標を達成できた

- ①両面コピーを促進する
- ②電子化を促進し紙ベースでの保存を減らす
- ③ペーパーレス会議の促進

#### 7. 化学物質の取扱い

結果: 化学物質の取り扱い量を減らすことができた

- ①化学物質の取り扱い量の把握及び削減に努める  
※塗料の水性化の拡大

#### 8. 本業における環境配慮

結果: 本業におけるエコ商品の拡大を引き続き継続していく

- ①スカイアクティブ搭載車両の拡販
- ②エコタイヤ(低燃費タイヤ)の拡販

#### 9. ライトダウンキャンペーン2023(2023年7月7日及び2024年3月25日)への参加

結果: 参加し実践した

- 七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明を消灯
- 3月25日に20:00以降は屋外照明を消灯

#### 10. フロン排出抑制法の対応

結果: 実施できた

- ①7.5kW未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)
- ②7.5kW以上50kW未満の業務用エアコンの定期点検の実施(3年/1回)

※2024年度以降も引き続き上記のエコアクション活動を実践し活動していく

# (株)関西マツダ 環境経営計画の取組結果と評価 (1)

## 1. 環境負荷数値の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
		実績	実績	実績	実績	目標値	実績	削減率	
二酸化炭素排出量 ※1 ※2	kg-CO2	3,334,561	3,178,713	3,146,504	3,101,001	3,201,179	2,191,327	31.5%	
電力使用量	kWh	4,907,320	4,573,476	4,651,761	4,722,323	4,711,027	4,558,584	3.2%	
化石燃料使用量	ガソリン・軽油合計	L	264,373	269,991	238,038	242,640	253,798	242,392	4.5%
	ガソリン使用量	L	191,257	213,195	189,154	181,712	183,607	176,137	4.1%
	軽油使用量	L	73,116	56,796	48,884	60,928	70,191	66,255	5.6%
	都市ガス・LPG合計	m <sup>3</sup>	62,382	56,281	57,501	55,300	59,887	53,580	10.5%
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	62,188	56,183	57,406	55,209	59,700	53,516	10.4%
	LPG使用量	m <sup>3</sup>	194	98	95	91	186	64	65.7%
灯油使用量	L	108	59	161	155	104	200	増加	
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	102,569	91,910	97,021	95,545	98,466	82,271	16.4%
	産業廃棄物排出量	kg	565,123	526,205	484,988	466,399	542,518	428,715	21.0%
	水使用量	m <sup>3</sup>	36,242	33,709	32,751	32,162	34,792	31,928	8.2%
	コピー用紙使用量	kg	39,104	40,457	35,137	36,356	37,540	28,191	24.9%

※1 排出係数はオリックス…0.734 エネアーク関西… 0.442 関西電力… 0.311 (全て単位は、kg-CO2/kWh)を使用した。  
排出係数は各社の2021年度実績(調整後)

※削減率…目標値に対する削減率

## 2. 環境商品(スカイアクティブ搭載車両)の販売実績

2023年度新車売上台数(直売) 5,959 台  
内)スカイアクティブ搭載車両(直売) 4,808 台  
スカイ搭載車両販売比率(直売) 80.6 %



※前年の販売比率 81.8%に対して1.2ポイント下回った。

## 3. 環境商品(エコタイヤ / 低燃費タイヤ)の販売実績

(2023年4月～2024年3月)

※下記の4メーカー約30種類のエコタイヤ(低燃費タイヤ)を販売した  
タイヤ販売数 15,037本中、エコタイヤ販売 10,281本 販売比率 68.3%

参考)2022年度実績 タイヤ販売数 17,943本中、エコタイヤ販売 12,662本 販売比率 70.5%

〈プリヂェストン〉エコタイヤ	
ECOPIA NH200	
ECOPIA NH200C	
Playz PX II	
Playz PX-RV II	
REGNO GR-X II	
REGNO GRV II	
ALENZA LX100	
NEWNO	
その他	
合計	2,480

〈ダンロップ〉エコタイヤ	
エナセーブEC204	
エナセーブ RV505	
VEURO VE304	
LEMANS LM704	
LEMANS LM V	
LEMANS LM V+	
その他	
合計	3,392

〈トーヨー〉エコタイヤ	
NANOENERGY3 PLUS	
TRANPATH mpZ	
TRANPATH mp7	
TRANPATH LuK	
TRANPATH ML	
PROXES Comfort II s	
PROXES CF2	
PROXES CL1 SUV	
その他	
合計	3,159

〈ヨコハマ〉エコタイヤ	
BluEarth-Es	
BluEarth AE01F	
BluEarth AE01	
BluEarth GT	
BluEarth XT	
BluEarth-RV RV03	
BluEarth-RV RV03CK	
ADVAN dB V552	
その他	
合計	1,250

4. 環境経営計画の取組結果とその評価

①二酸化炭素排出量

		削減率	
目標に対して	31.5%	削減	

②電力使用量

		削減率	
目標に対して	3.2%	削減	

【要因】

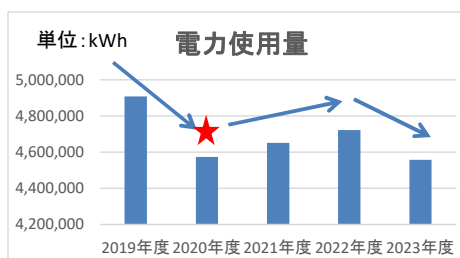
二酸化炭素排出量は目標に対して32%も削減できたのは評価できる。  
 寝屋川店やその他各店舗のLED照明化・省エネ空調機の導入継続が効果を上げていると考える

【2024年度】

守口店の大改修工事を計画している。省エネ機器の導入によりさらに環境負荷数値を低減する  
 また、守口BPセンターの蛍光灯・水銀灯のLED化を計画している

〈過去5年の電力使用量の推移〉

年度	電力使用量
2023年	4,558,584kWh
2022年	4,722,323kWh
2021年	4,651,761kWh
2020年	4,573,476kWh
2019年	4,907,320kWh



※コロナ元年(2020年★印)を機に、電力使用量の削減量が頭打ちとなり、毎年微増に転じていたが  
 2023年度は削減できた。

③化石燃料使用量の削減

A ガソリン使用量

		削減率	
目標に対して	4.1%	削減	

B 軽油使用量

		削減率	
目標に対して	5.6%	削減	

C 都市ガス使用量

		削減率	
目標に対して	10.4%	削減	

D LPG使用量

		削減率	
目標に対して	65.7%	削減	

E 灯油使用量

		削減率	
目標に対して	-92.9%	増加	

【化石燃料の使用量について】

灯油使用量は2019年度の実績値や目標値に対しても増加となっているが、絶対量としては  
 会社全体で非常に少ない使用量となっているので大きな問題とは考えていない。  
 その他の化石燃料の使用量は、目標に対して削減できている。

## (株)関西マツダ 環境経営計画の取組結果と評価 (3)

### ④水使用量

削減率		
目標に対して	8.2%	削減

#### 【要因】

エコアクション活動の浸透により、水量メーターの増加に敏感に反応し早期の水漏れを発見した事例も含め節水意識が高くなってきていることが評価できる

### ⑤産業廃棄物の排出量の削減

削減率		
目標に対して	21.0%	削減

#### 【有価物としての処理数】

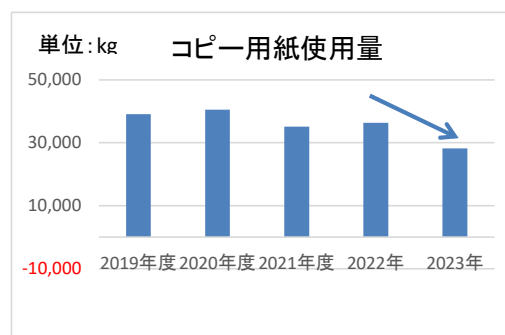
〈2023年度〉	廃バッテリー	123,039kg	廃油	406,523kg
〈2022年度〉	廃バッテリー	121,968kg	廃油	428,391kg
〈2021年度〉	廃バッテリー	125,469kg	廃油	440,790kg
〈2020年度〉	廃バッテリー	140,025kg	廃油	484,717kg

### ⑥ コピー用紙使用量の削減

〈過去5年のコピー用紙使用量の推移〉

削減率		
目標に対して	24.9%	削減

2023年度	28,191kg
2022年度	36,356kg
2021年度	35,137kg
2020年度	40,457kg
2019年度	39,104kg



※コピー用紙の使用量は、2019年度よりサービス売上伝票が複写式伝票からコピー用紙に変更となった為増加していたが、WEB会議の促進や紙資料の削減努力により2021年度は削減できた。

2022年度は微増に転じたが、2023年度では大幅に削減できた。

### ⑦化学物質について

塗料の水溶性の促進により、化学物質の使用量は大幅に減少しつつある。  
引き続き、水溶性の拡大を継続する。

### ⑧ ライトダウンキャンペーン2023(2023年7月7日及び2024年3月25日)への参加

2023年七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明の消灯をした

2024年3月25日、20:00以降は屋外照明の消灯をした

関西マツダ北東部の旗艦店「寝屋川店」グランドオープン (2023年11月)



最新のLED照明と空調設備で明るく快適なサービス工場



整備・作業も見渡せるカウンター席設置のカスタマーラウンジ



ショールーム



竣工式の様子



【東淀川店ショールーム及び外構照明】 省エネ機器の導入… LED照明



【岸和田店 ショールーム照明及び外構照明】 省エネ機器の導入… LED照明



【富田林店ショールーム】 省エネ機器の導入… LED照明



【鳳店ショールーム】 省エネ機器の導入… LED照明



# (株)関西マツダ 環境経営計画の取組結果と評価 (6)

## 5. 太陽光パネルの発電状況

太陽光パネルの発電により2023年度は合計19,792kg-CO<sub>2</sub>の  
 二酸化炭素排出量を削減した※  
 樹齢80年の杉の木1,414本が1年間で吸収する二酸化炭素量に相当

※排出係数=0.311kg-Co<sub>2</sub>で計算

※杉の木1本が1年間でCO<sub>2</sub>を取り込む量約14kgで計算

泉佐野店太陽光パネル…2013年7月設置

2023年度	期間	発電量
4月	3月18日 ~ 4月19日	2,618 kWh
5月	4月20日 ~ 5月22日	3,205 kWh
6月	5月23日 ~ 6月19日	2,208 kWh
7月	6月20日 ~ 7月20日	2,772 kWh
8月	7月21日 ~ 8月21日	1,884 kWh
9月	8月22日 ~ 9月20日	1,253 kWh
10月	9月21日 ~ 10月20日	1,016 kWh
11月	10月21日 ~ 11月20日	880 kWh
12月	11月21日 ~ 12月19日	572 kWh
1月	12月20日 ~ 1月22日	984 kWh
2月	1月23日 ~ 2月20日	1,480 kWh
3月	2月21日 ~ 3月20日	1,839 kWh
	合計	20,711 kWh



PHOTO: 泉佐野店

東大阪店太陽光パネル…2013年12月設置

2023年度	期間	発電量
4月	4月13日 ~ 5月15日	4,343 kWh
5月	5月16日 ~ 6月12日	3,148 kWh
6月	6月13日 ~ 7月12日	3,361 kWh
7月	7月13日 ~ 8月14日	4,491 kWh
8月	8月15日 ~ 9月12日	3,088 kWh
9月	9月13日 ~ 10月12日	3,196 kWh
10月	10月13日 ~ 11月13日	3,333 kWh
11月	11月14日 ~ 12月12日	2,422 kWh
12月	12月13日 ~ 1月15日	2,788 kWh
1月	1月16日 ~ 2月13日	1,944 kWh
2月	2月14日 ~ 3月12日	1,917 kWh
3月	3月13日 ~ 4月10日	2,559 kWh
	合計	36,590 kWh



PHOTO: 東大阪店

枚方店太陽光パネル…2014年7月設置

2023年度	期間	発電量
4月	3月6日 ~ 4月5日	1,519 kWh
5月	4月6日 ~ 5月8日	1,672 kWh
6月	5月9日 ~ 6月5日	1,626 kWh
7月	6月6日 ~ 7月5日	1,350 kWh
8月	7月6日 ~ 8月3日	172 kWh
9月	8月4日 ~ 9月5日	0 kWh
10月	9月6日 ~ 10月4日	0 kWh
11月	10月5日 ~ 11月6日	0 kWh
12月	11月7日 ~ 12月5日	0 kWh
1月	12月6日 ~ 1月9日	0 kWh
2月	1月10日 ~ 2月5日	0 kWh
3月	2月6日 ~ 3月5日	0 kWh
	合計	6,339 kWh

※2023年9月よりパワーコンディショナー故障の為発電なし



PHOTO: 枚方店

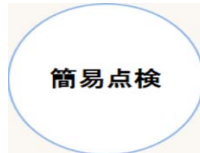
※2023年度の3設備合計の発電量は63,640kwh



## 6. フロン排出抑制法の対応

### ①7.5kw未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)

#### 【2023年度実施状況】



- 2023年4月実施済み
- 2023年7月実施済み
- 2023年10月実施済み
- 2024年1月実施済み



### ②7.5kw以上の50kw未満の業務用エアコンは業者による定期点検の実施(3年/1回)

機種	圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
エアコン・空調機器	7.5kw以上50kw未満	3年に1回
	50kw以上	1年に1回

#### 定期点検

定期点検は一定規模以上の大型の業務用冷凍空調機器が対象です



- 2016年10月実施済み
- 2020年2月実施済み
- 2023年7月実施済み
- ※次回、2026年7月に実施予定

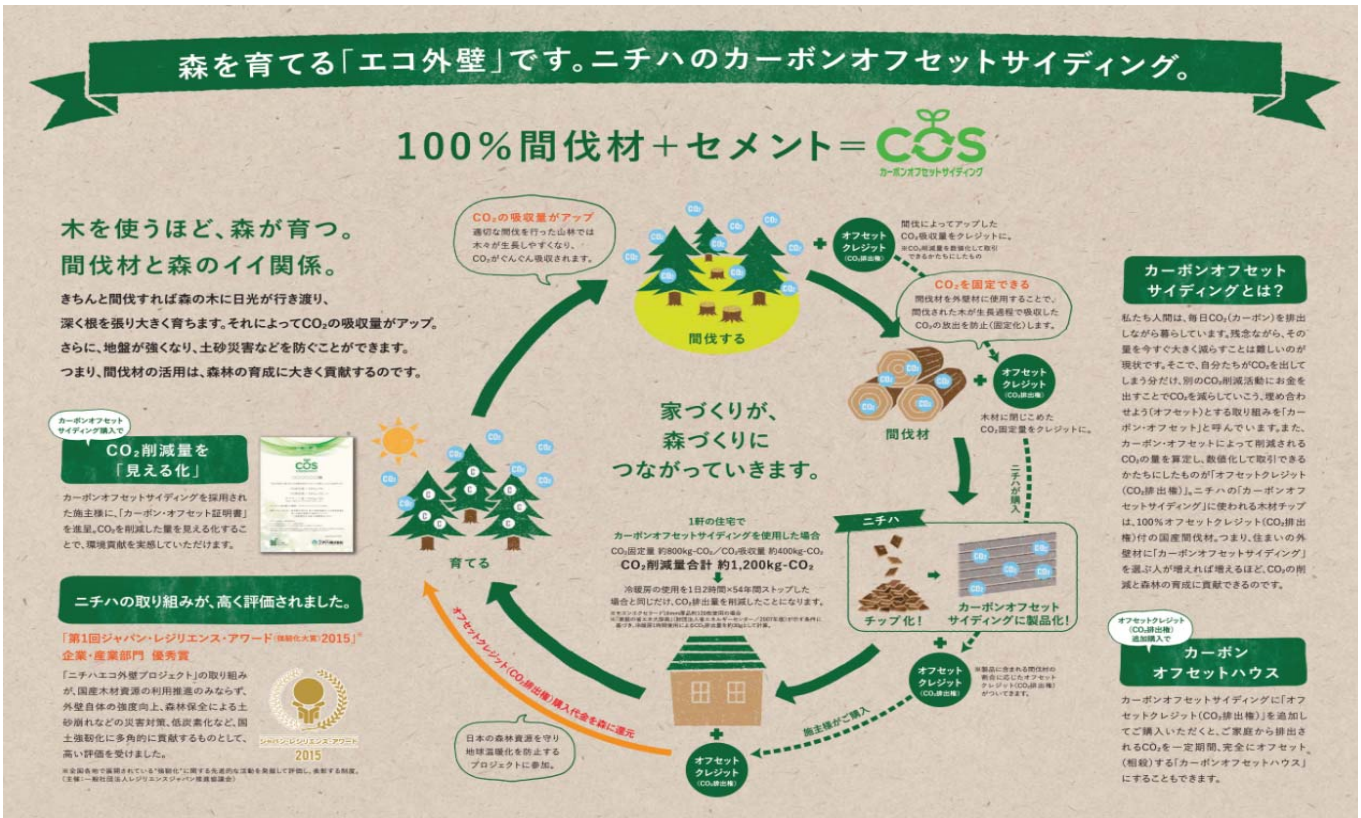
7. その他

●カーボンオフセットサイディングの採用（ニチハ株式会社様）

2023年11月に竣工した「寝屋川店」に森を育てる「エコ外壁」を採用しました  
 （設計・工事監理 マツダエース株式会社）



間伐材の利用を促進して森林育成に貢献したい、その願いをカタチにしたのが、国産間伐材を原料に使った外壁材「カーボンオフセットサイディング」ニチハ株式会社様のサイディングを寝屋川店で採用いたしました



# (株)関西マツダ 環境関連法規等のとりまとめ

## 1.環境関連法規

環境関連法規	要求事項	確認
下水道法	特定施設設置届出	○
水質汚濁防止法	特定施設設置届出	○
浄化槽法	設置届出と定期検査	○
騒音規制法	特定施設設置届出	○
振動規制法	特定施設設置届出	○
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物の適正処理	○
自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	使用済自動車の適正処理	○
消防法	少量危険物の届出、設備の設置	○
温対法 (地球温暖化対策の推進に関する法律)	温室効果ガスの排出量の算定、府への報告	○
PRTR法 (特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府化学物質管理制度	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府生活環境の保全等に関する条例	環境保全に関する届出等	○
大阪府温暖化の防止等に関する条例	対策計画書、実績報告書の府への届出	○
労働安全衛生法	作業安全の確保 定期健診(特殊健康診断) 新たな化学物質規制への対応	○
PCB特別措置法	適切な保管と届出	○
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	廃棄物の減量推進と適正な処理	○
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検の実施と記録の保管	○
改正健康増進法	原則禁煙 喫煙表記 換気設備	○

主な環境関連法規等の遵守確認を行ったが、いずれも遵守されており特筆すべき事項はなかった

詳細は、店舗ごとに別表でまとめている

## 2.違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けていない

また、同時に訴訟の発生もなかった

## (株)関西マツダ 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・2023年度は、大阪北東部の旗艦店 寝屋川店の全面建替えの完成に伴い省エネ機器を導入・稼働させ電力使用量の削減に貢献しているだけでなく多くのお客様に来店いただき「マツダブランド」の浸透・PRに大きく貢献することができている  
さらに、富田林店、鳳店、東淀川店、岸和田店の大改修計画を実現させ、お客様に居心地の良いショールームを提供し且つすべての照明器具のLED化を実施した
- ・2024年度は、大型店舗の守口店の大改修工事を計画しており、省エネ器具の導入をはじめ居心地の良いショールームをさらに進化させ、守口店を訪れる全ての皆様が笑顔になる店作りを実現する  
また守口BPセンターの照明をLED化する計画も進めている
- ・環境経営方針は①代表者名の変更を行う。また②「スカイアクティブ車の拡販」→「マツダ車の拡販」と変更する
- ・環境経営目標は、2024年度の活動より目標となる基準年を2022年度とし1年を経過するごとに1%の各エネルギーの削減を目標とする
- ・実施体制は、事業部が4事業部が3事業部へ組織変更に向けた実施体制へ移行する
- ・今後も引き続き関西マツダに関わるすべての人を「笑顔」にし、地域社会に貢献し愛される企業を目指す
- ・2024年度より目標となる基準年を2022年度とし、1年経過するごとに1%の各エネルギーの削減を目標とする

2024年5月20日

株式会社関西マツダ 代表取締役社長 首藤 敬